

特定非営利活動法人 印旛沼広域環境研究会
 〒285-0837 佐倉市王子台3-2-2
 TEL:043-462-2123 FAX:043-462-4323
 E-mail:npo-inba@ar.wakwak.com

(株)大和 内
 発行人 太田 勲
 印刷 NPOいんば

2015年9月号

No.27

水草バンクシステム 【学校を訪問しました】

27年7月29日・8月4日実施

水草バンクシステムって？

- ① 笠井貞夫先生が遺された印旛沼在来の水草の保全と、舟戸の印旛沼内に造成した笠井記念舟戸水草園での水草の育成と保全。
- ② 佐倉市内及び印西市内の小中学校の池に印旛沼在来の水草を移植。増殖した水草を他の学校に移植し、印旛沼本体に戻す事を目的としている。2005年に植え付けたマツモ・クロモ・ヒメガマの育成を確認しており、現在はアサザを中心にして児童に印旛沼の水質浄化啓蒙活動と環境学習の一環としている。

水草バンクシステムとは？

印旛沼がきれいになったら印旛沼本体に戻して、水質浄化に役立てる。



笠井記念舟戸水草園で、アサザなど
 在来水草を保全・育成。



未来の夢を育む
 水草バンクシステム



印旛沼流域の小中学校の池に移植し、増えた株を他の学校に移植。

【実施学校：17校】

佐倉市内（12校）

佐倉小学校・佐倉東小学校・和田小学校・
 弥富小学校・山王小学校・寺崎小学校・印
 南小学校・染井野小学校・真野台小学校・
 千代田小学校・王子台小学校・志津小学校

印西市内（5校）

いには野小学校・六合小学校・宗像小学校
 本笠第二小学校・印旛中学校

〔佐倉小学校（7月29日訪問）〕



池一面に根付いて、これから楽しみ。

〔佐倉東小学校（7月29日訪問）〕



アサザに混じってタヌキモが沢山開花していて驚いた。数年前に移植したものではないか。舟戸水草園では消滅しているので貴重である。昨年水がなかった部分にヒメガマが育っていた。

〔和田小学校(7月29日訪問)〕



見事に大きな花が咲き揃いいつも楽しみ。常に井戸水を注入している事も好条件の一因か。

〔弥富小学校(7月29日訪問)〕



鯉、スイレンと共存して根付いている。ガガブダ・トチカガミなど色々な種類を移植して、試したい。

〔印南小学校(7月29日訪問)〕



授業で捕まえたザリガニを放流しているのでアサザは皆無。ヒメガマが育っている。アサザを移した。

〔寺崎小学校(7月29日訪問)〕



アサザは元気がないので、池に注水した。ヒメガマが育っている。

〔山王小学校(7月29日訪問)〕



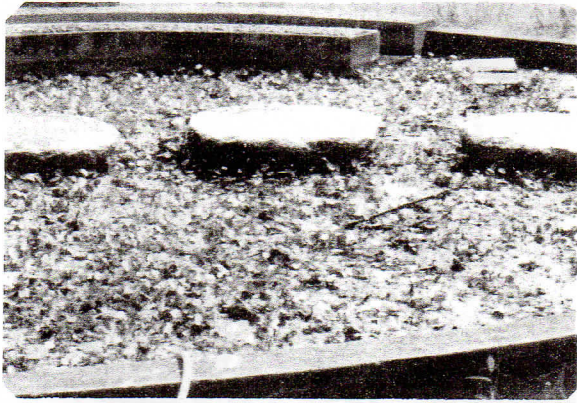
全体に繁茂し開花しているが、ホテイアオイに駆逐されそうなので取り除き離れた。

〔染井野小学校(8月4日訪問)〕



昨年同様に池には全く水がなく、築山のような状態でススキなどの雑草に覆われていたが、その中にヒメガモの姿が見られた。学校側で池を整備してもらった後に再度アサザを移植したい旨、教頭先生に申し入れた。

[真野台小学校(8月4日訪問)]



池の水の量が少し不足みながら、アサザは大変良好な状態で管理されており、株の数も増えているように見かけられた。

[千代田小学校(8月4日訪問)]



アサザの株数も多く池一面に美しい姿をみせており、他の品種と混在で大変良好な状態を保っている。

[志津小学校(8月4日訪問)]



昨年よりアサザの数が若干少なくなった感じもしたが、他の品種と混在しながら、良好に生育されている。

[王子台小学校(8月4日訪問)]



アサザの葉も大きく見るからにたくましく、他の品種と混在して完全な状態で育っているのが確認された。

[本笠第二小学校(8月4日訪問)]



アサザの花も大きく良好に育っているが花の色が少し黒ずんでおり、過密の傾向があるので間引きをした。

[いには野小学校(8月4日訪問)]



黄色い可憐なアサザの花が見事に咲いており、特に手を加える必要がないほど良好に育てられていた。

〔 印旛中学校(8月4日訪問) 〕



池が深いため昨年ブロックを下に置き、フラワーボックスにアサザを移植したものが、小さな可愛い葉を浮かべていた。

〔 六合小学校(8月4日訪問) 〕



池がかなり深く、印旛中学校と同じ方法でアサザを移植したが、睡蓮の白い花が堂々と咲き乱れており、学校側と協議の上移植しなければならないと思われる。

〔 宗像小学校(8月4日訪問) 〕

校舍改修のため新しい池となり、移植不可能となっている。しかしこの学校は笠井先生の母校でもあり、今後もアサザを移植してもらえよう努力したい。

千葉県立中央博物館「水草ふしぎ、水辺の彩り」勉強会参加者募集!

開催日時 平成27年11月23日(月・祭日)
[午前11:00~11:30]
開催場所 千葉県立中央博物館(林紀男理学博士のミュージアムトークあり)

開催内容 印旛沼と手賀沼の水草を中核に、衣食住など身近な水草展見学。
詳細は追ってお知らせいたしますが、是非お申し込み下さい。人数によりバスをチャーターする予定です。

【 申込先 】

◎ 事務局 (園原)
[090-3249-6002]
FAX (本橋)
[043-485-2547]

第18回印旛沼流域
環境・体験フェア開催!
~水と食と発見のある印旛沼~

開催日時 10月24日(土) 11:00~15:00
[NPOいんば参加]

10月25日(日)

開催場所 佐倉ふるさと広場向い側

美味しいもの、屋形船乗船、ステージイベント、農業車両の乗車体験、キャラクター撮影会など!
NPOいんばブースでは、例年どおり子供たちを対象に『どじょうつかみ』で盛り上げます。

テント内では小学校の池に移植している、水草バンクシステムの活動の写真の展示を行います。また地元岡野川魚店さんの佃煮の販売もあり、皆様のご来場をお願いいたします。(事務局までご連絡下さい)



◇ 編集後記 ◇

今号では毎年「水草バンクシステム」の一環として印旛沼流域の小中学校の池に移植しているアサザの育成状況を調査するために、今年8月に行った「学校訪問」の状況を中心に編集してみました。

今年の訪問校の中には池に全く水がなく、アサザが育っていない学校もありましたが、殆どの学校では黄色い可憐なアサザの姿が見られ、「水草バンクシステム」の効果が年々上昇していることを痛感しました。今後もこの企業が益々盛り上がることを願っています。(編集部)